

【現地開催】

児童生徒の「待ち遠しい」を作る 栄養教諭等×米生産者×料理人 みんなで考える学校給食の在り方



コロナ禍を乗り越えて、栄養教諭等・米生産者・料理人みんなで考える

このコロナ禍の2年間、学校の休校による献立変更、食材発注の調整、在宅児童生徒の栄養の心配、様々な問題が次々と降りかかってきました。「黙食」も継続させ、本来なら楽しいはずの学校給食も、ただの栄養摂取だけになってしまうこともあります。本当の学校給食とは何だったのか？そもそも学校給食とは何なのか？それらを岐阜県の食に関わる関係者が集まり、皆さんと話し合う会を開催したいと思います。本研修会は、リアルでの開催とし、オンラインとハイブリッドで行います。

日時：2022年12月3日（土）9:30～12:00

会場：JA会館 2階大会議室 岐阜県岐阜市宇佐南4-13-1（地図裏面）

主催：全国農業協同組合中央会（JA全中）

後援：岐阜県教育委員会（申請中）

運営：和食給食応援団

共催：岐阜県農業協同組合中央会（JA岐阜中央会）

協力：岐阜県学校栄養士会

参加費：無料

岐阜県内の米生産者

岐阜県の農業生産者に登壇頂き、歴史ある岐阜県の農業を皆様にお見せします。お米を始め、児童生徒に伝えたい農業のすばらしさと面白さを生産者よりお届けします。



岐阜県各地で活躍する栄養教諭・学校栄養職員

自校や、所属自治体の学校給食は分かっていても、他地域の学校給食についてはご存じでしょうか？各地でどういった食教育を行っているか、児童生徒に向き合っているかを各地の先生からお話し頂きます。

岐阜県農業協同組合中央会（JA岐阜中央会）

JAおよびJA連合会の健全な発展を図ることを目的に設立された組織。JA岐阜中央会はJAの事業・経営をサポートする事業を行っています。食農教育にも取り組み、岐阜県内の食と農を教育関係者にも分かりやすくお伝えすべく、この取り組みを準備しました。

岐阜県内の和食料理人

調理や食の専門家でもある和食料理人も現地に招き、食に向かい合う気持ちや精神性も含めてお話を頂きます。同じくコロナ禍による休業などを乗り越え、どうやって思いを伝え続け、モチベーションを維持し、調理に向き合ったのかを話して頂きます

全国農業協同組合中央会（JA全中）

心と体を支える食の大切さ、国産・地元産の豊かさ、それを生み出す農業の価値を伝える「みんなのよい食プロジェクト」という運動を展開。和食文化の継承や米消費拡大への取り組みの一環で和食給食応援団と連携。



和食給食応援団

2014年3月、「和食」文化の継承に意欲をもった和食料理人と大手食品メーカーが集結し、設立。現在、全国約70名の和食料理人と約70社の企業が活動に参加。和食料理人が全国の小中学校を訪問し、学校栄養職員と連携した献立開発や食育授業を実施。



当日タイムスケジュール（調整中）

| | |
|-------------|--|
| 9:30~9:40 | 開会挨拶 |
| 9:40~10:10 | 【講演】お米生産者による講演 |
| 10:15~11:30 | 【パネルディスカッション】生産者×和食料理人×栄養教諭・学校栄養職員によるパネルディスカッション |
| 11:30~11:50 | 質疑応答・感想 |
| 12:00 | 閉会 |

開催場所

JA会館 2階大会議室 岐阜県岐阜市宇佐南4-13-1

駐車場あり（84台）

タクシー：【参考】西岐阜駅から8分

（料金820円：距離2.2km）

岐阜駅から15分（料金1540円：距離4.3km）



栄養教諭・学校栄養職員向けオンラインセミナー お申し込み方法 【12月02日（金） 締切】

下記のURLもしくは右の二次元バーコードを読み取りの上、参加フォームにご回答ください。

<https://forms.gle/wS4J5y4kSzQAtFWn8>

お申込みいただいた方には後日、メールにて詳細の案内をお送りします。

お問い合わせ先：和食給食応援団（合同会社五穀豊穰）

MAIL: washoku-kyushoku@gokokuhoujou.jp

FAX:03-6893-6712

